

お助け隊(仮称) 活動その1

道路舗装の改修

改修前



舗装面がえぐれ、砂利などで埋めておりましたが、タイヤで弾いて飛んだり、夜間の歩行などは特に大変危険な状態でした。

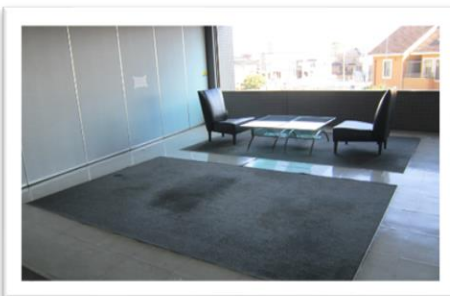
改修後



理事会で、見積・業者選定しておりましたが、「お助け隊(仮称)」が出勤し、アスファルトで応急処置をしました。材料費だけで改修出来ました。

お助け隊(仮称) 活動その2

ソファの修理



ここにあったソファは、ビリビリ、グラグラで危険な状態で廃棄寸前でした。



全て分解し、布を張替え明るいソファに生まれ変わりました。延べ3日間にわたり、皆さん大変苦勞しましたが、楽しそうに手を動かしているのが印象的でした。材料費だけで済みました。



(補足1)

「活動その1」及び「活動その2」は、理事会において承認の上実施いたしました。

(補足2)

お助け隊(仮称)とは、自治会役員のスキルを活かし、専門業者に委ねるまでもない困りごとや、専門業者に発注するまでの応急的な処置などをする方々です。今後は、居住者からも広くスキルを提供していただき、居住者の生活環境向上やできれば経費の節減をも目指し、活動の輪を広げる道筋をつけたいと考えております。

**編集
後記**

グランヴァーク茅ヶ崎も20数年経過し、種々の課題に直面するようになりました。そんな時大切にしたいのがお互いの「きずな」であり、助け合いではないでしょうか。その様な視点で、自治会では「まず、知り合うこと」を目途に丁寧に情報発信をして参ります。その一環として「自治会だより「きずな」」を発行しました。

グランヴァーク茅ヶ崎 自治会長 高橋佳代
石井 勇